

6月の植物

ヤマアジサイ（別名サワアジサイ）（アジサイ科アジサイ属）

学名：*Hydrangea serrata* var. *serrata*

大台ヶ原でヤマアジサイに出会ったとき聞いた逸話である。「深い山間に若い男女がいて、男性は女性に恋しプロポーズする。女性は断り切れず、そばに咲いていたヤマアジサイを指差し、『この花が散ったときに結婚します』と答えてしまう。」実はこの花は枯れたままいつまでも残ります。なんとも言い切れない空しい話だった。普賢岳では目の覚めるような青色のヤマアジサイに出会った。あまりにも美しかったので写真を撮り、次の年を楽しみにしていた。しかし、大噴火により普賢岳は消えてしまった。この2つの思い出はヤマアジサイに出会うたびに思い出す。

ヤマアジサイは関東地方以西から九州の山地の谷沿いや湿った斜面などに生える落葉低木。花期は6月～7月。佐賀県では脊振山、雷山、八幡岳、経ヶ岳、平谷、奥山など標高の高いところで見ることができる。株立ちし高さ1～2m、葉は対生し、長さ10～15cm、幅5～10cmの長楕円形で先は長くとがり、三角状の粗い鋸歯があり、表面は無毛で裏面は脈上に短い縮れた毛がある。枝先に直径5～10cmの集散花序をだし、両性花のまわりを装飾花が取り囲む。装飾花ははじめ白色～淡青色でのちに淡紅色に変わり、春まで残る。両性花は花弁が5個。果実はさく果で10～11月に熟す。（文責：井手義信）



2019.6.28 多良岳

参考文献：樹に咲く花（山溪ハンディ図鑑4）、佐賀県植物目録 1981